

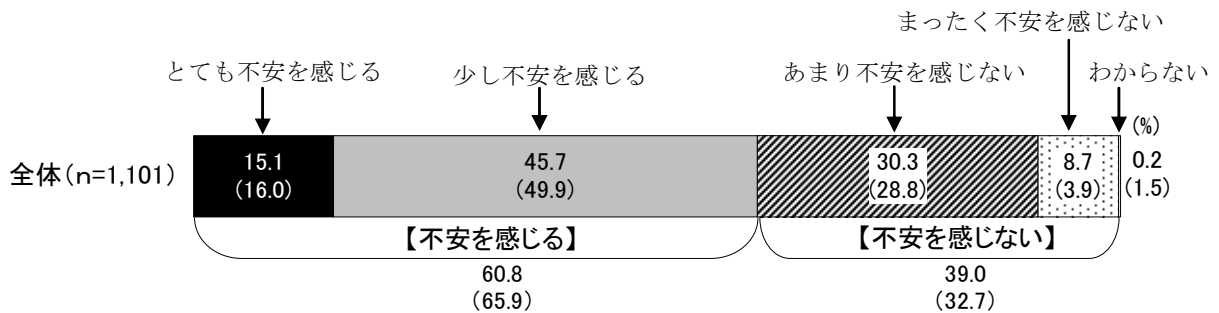
Ⅶ 食の安全

1. 食の安全に対する不安感

(1) 食の安全に対する不安感

—【不安を感じる】が約6割—

問20 あなたは、食の安全について不安を感じていますか、それとも感じていませんか。次の中から一番近いものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成24年の調査結果

食の安全に対して、「とても不安を感じる」(15.1%)と「少し不安を感じる」(45.7%)を合わせた【不安を感じる】(60.8%)が約6割となっている。一方、「あまり不安を感じない」(30.3%)と「まったく不安を感じない」(8.7%)を合わせた【不安を感じない】(39.0%)は約4割となっている。

—【不安を感じる】が約5ポイント減少—

前回調査(昨年)と比べると、【不安を感じる】が約5ポイント減少している。

—女性で【不安を感じる】が男性よりも約17ポイント高い—

性別でみると、【不安を感じる】は、女性(69.0%)が男性(51.7%)よりも約17ポイント高くなっている。

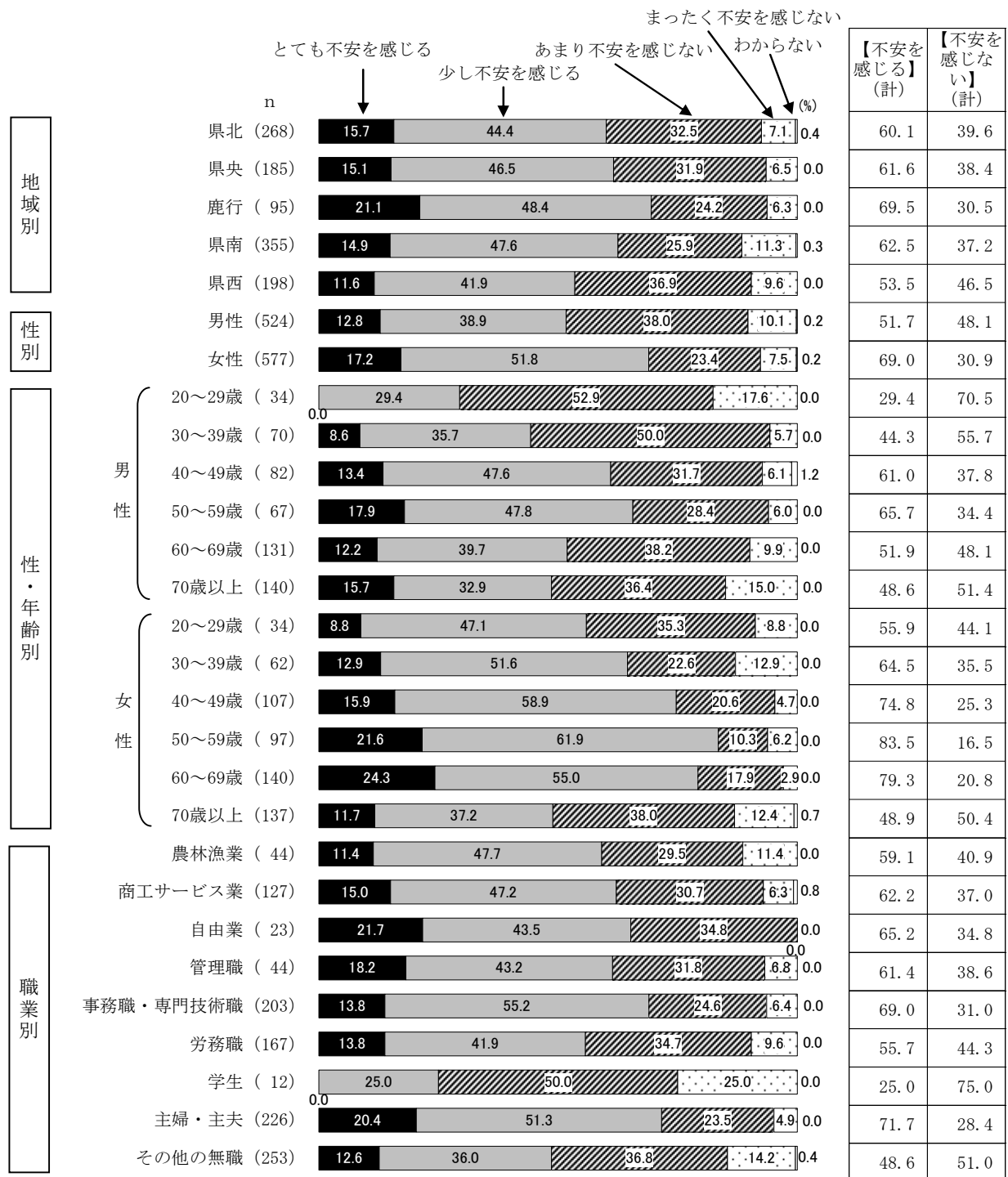
—女性の40代から60代で【不安を感じる】が高い—

性・年齢別でみると、【不安を感じる】は、女性の50代(83.5%)で8割台半ばと最も高く、女性の40代(74.8%)と60代(79.3%)で7割台となっている。

—主婦・主夫で【不安を感じる】が7割超—

職業別でみると、【不安を感じる】は、主婦・主夫(71.7%)で7割を超えて最も高くなっている。

図Ⅶ 20-1 食の安全に対する不安感
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



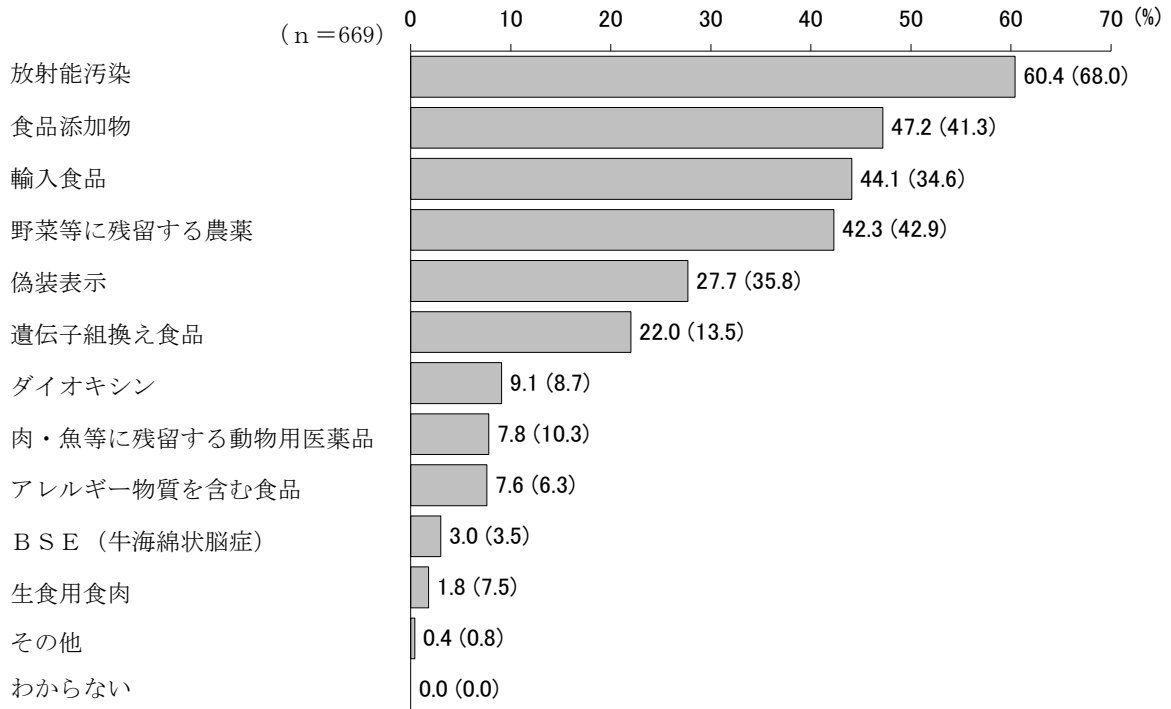
(注) 回答者数が30未満の層は分析ではふれていない。

(2) 食の安全に対して不安に感じること

—「放射能汚染」が約6割—

(問20で「とても不安を感じる」、「少し不安を感じる」と回答した方のみ)

問20-1 あなたは、食の安全について、主に何が不安ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。



※()内の数値は、平成24年の調査結果

食の安全に対して【不安を感じる】と回答した方に、不安に感じることを聞いたところ、「放射能汚染」(60.4%)が約6割と最も高く、次いで、「食品添加物」(47.2%)、「輸入食品」(44.1%)、「野菜等に残留する農薬」(42.3%)が4割台で続いている。

—「遺伝子組換え食品」が約9ポイント増加—

前回調査(昨年)と比べると、「遺伝子組換え食品」が約9ポイント、「食品添加物」が約6ポイント増加している。一方、「放射能汚染」と「偽装表示」が、それぞれ約8ポイント減少している。

—県北で「輸入食品」、鹿行で「野菜等に残留する農薬」が約5割—

地域別でみると、「輸入食品」は、県北(49.1%)で約5割と最も高くなっている。「野菜等に残留する農薬」は、鹿行(48.5%)で約5割と最も高くなっている。

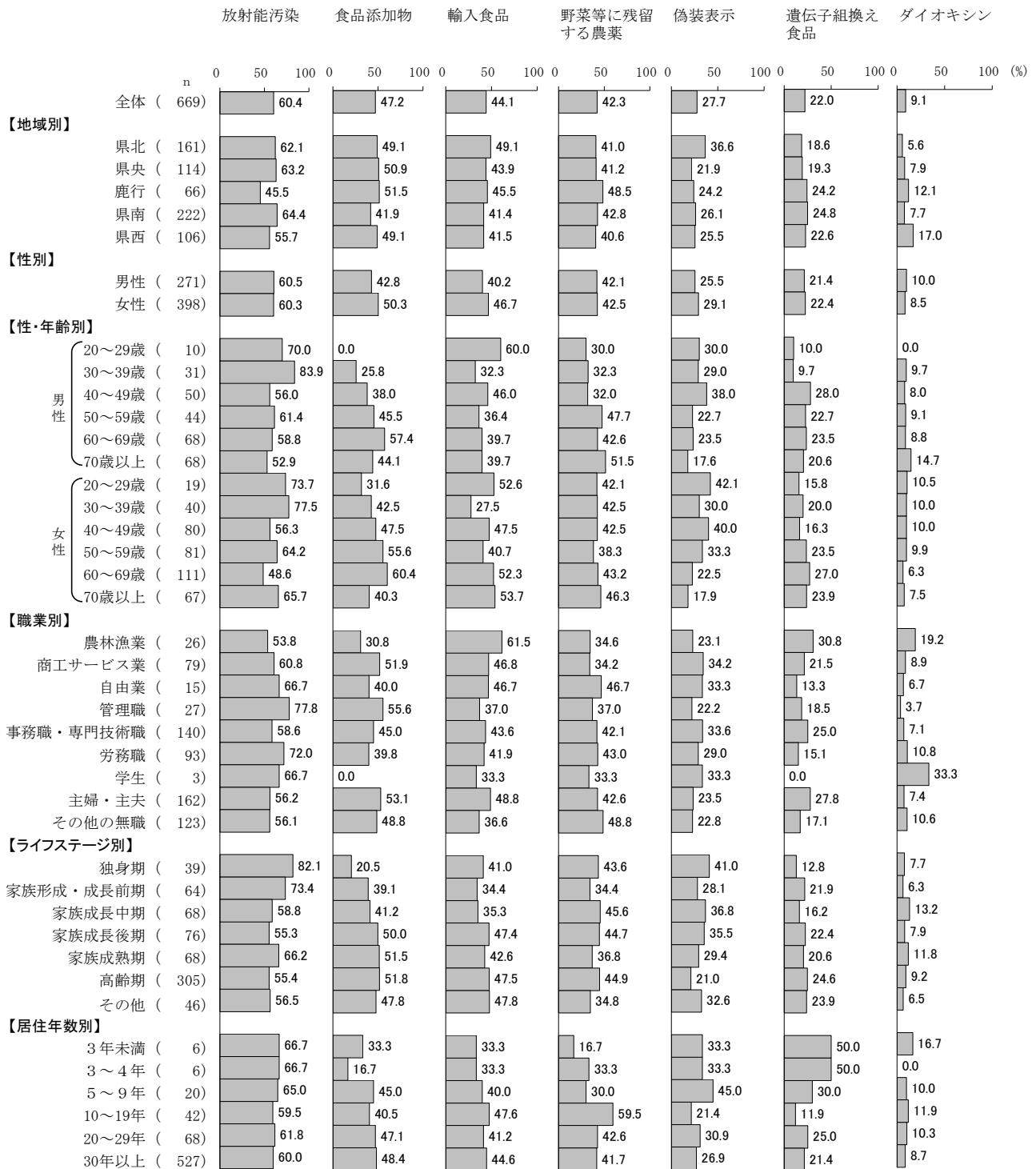
—女性で「食品添加物」、「輸入食品」が男性よりも高い—

性別でみると、「食品添加物」は、女性(50.3%)が男性(42.8%)よりも約8ポイント、「輸入食品」は、女性(46.7%)が男性(40.2%)よりも約7ポイント、それぞれ高くなっている。

—独身期で「放射能汚染」が8割超—

ライフステージ別でみると、「放射能汚染」は、独身期(82.1%)で8割を超えて最も高くなっている。

図Ⅶ 20-1-1 食の安全に対して不安に感じること
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

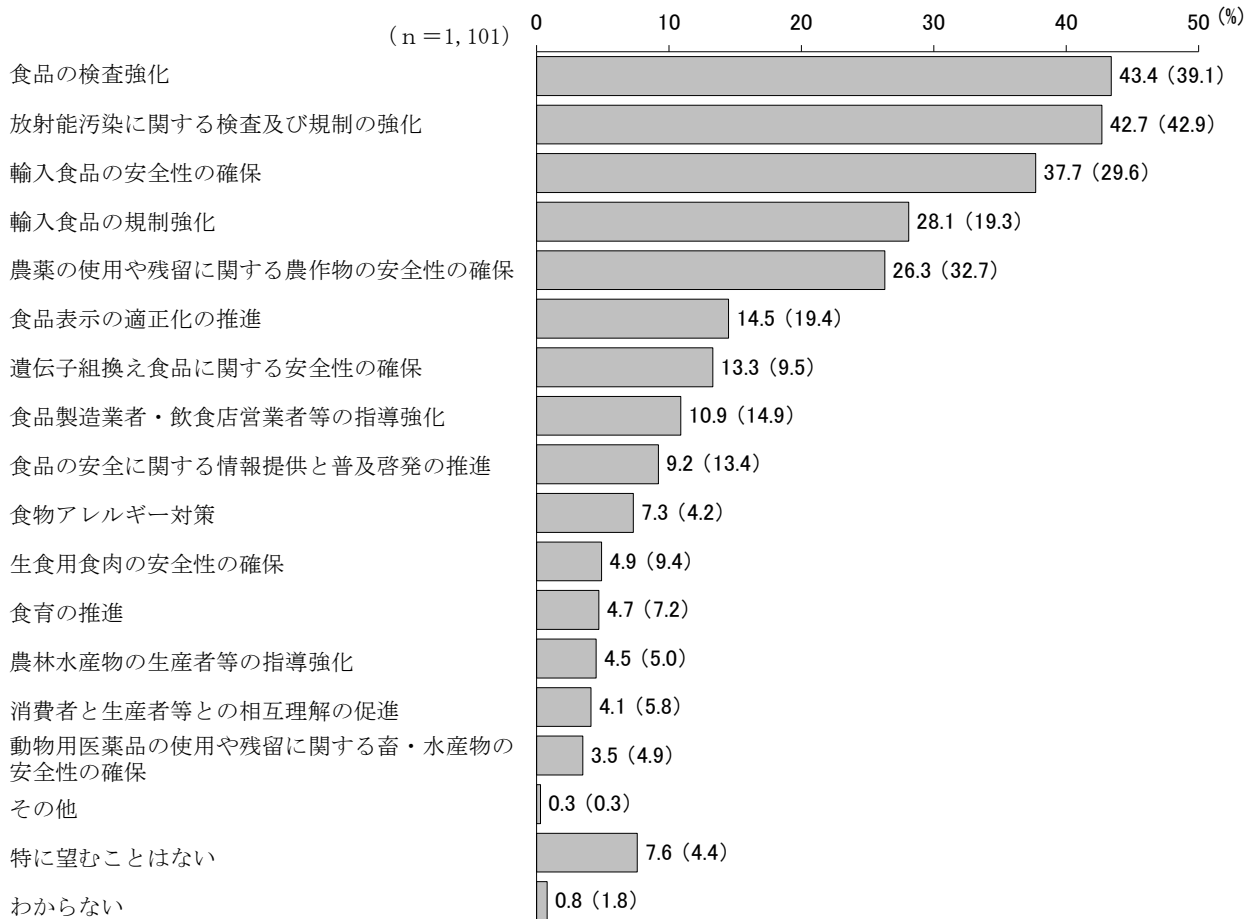


(注) 回答者数が30未満の層は分析ではふれていない。

2. 県に望む食の安全対策

—「食品の検査強化」と「放射能汚染に関する検査及び規制の強化」が4割台前半—

問21 あなたは、県に対して、食の安全への対策として主にどのようなことを望みますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。



※()内の数値は、平成24年の調査結果

県に望む食の安全対策としては、「食品の検査強化」(43.4%)と「放射能汚染に関する検査及び規制の強化」(42.7%)が4割台前半と高く、次いで、「輸入食品の安全性の確保」(37.7%)が3割台で続いている。

—「輸入食品の規制強化」が約9ポイント増加—

前回調査(昨年)と比べると、「輸入食品の規制強化」が約9ポイント増加している。一方、「農薬の使用や残留に関する農作物の安全性の確保」が約6ポイント減少している。

—女性の60代で「輸入食品の規制強化」が4割超—

性・年齢別でみると、「輸入食品の規制強化」は、女性の60代(42.1%)で4割を超えて最も高くなっている。

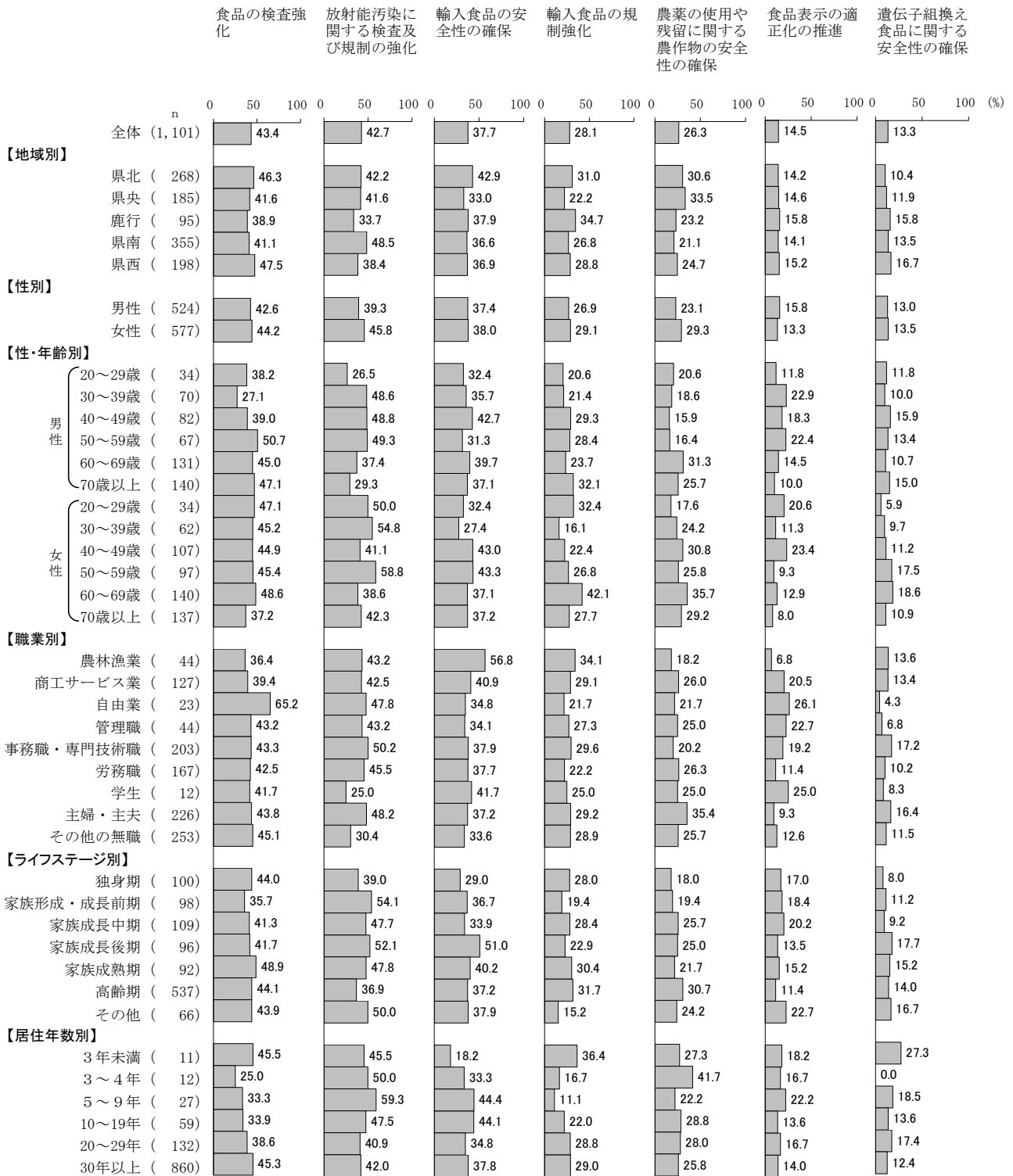
—農林漁業で「輸入食品の安全性の確保」が5割台半ば—

職業別でみると、「輸入食品の安全性の確保」は、農林漁業(56.8%)で5割台半ばと最も高くなっている。

— 家族形成・成長前期で「放射能汚染に関する検査及び規制の強化」が、家族成長後期で「輸入食品の安全性の確保」が最も高い —

ライフステージ別でみると、「放射能汚染に関する検査及び規制の強化」は、家族形成・成長前期(54.1%)で5割台半ばと最も高くなっている。「輸入食品の安全性の確保」は、家族成長後期(51.0%)で5割を超えて最も高くなっている。

図Ⅶ 21-1 県に望む食の安全対策
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)



(注) 回答者数が30未満の層は分析ではふれていない。